

# ゼロからの風

## 自主上映の手引き

「この感動を一人でも多くの人に届けたい！」

そんな気持ちを自主上映で実現しませんか？



東京都日野市百草999

電話:042-594-9810

ファックス:042-506-9816

この映画を一人でも多くの方に観て頂くために、あなたの地域で上映委員会を組織して活動して下さる方々への指針として、この手引きを纏めてみました。

公共のホール、企業・学校の講堂や体育館などを利用して、あなたの住む地域で自主上映会を開いてみませんか？

特定非営利活動法人 いのちのミュージアムでは、上映委員会のメンバー、又は上映委員会への後援団体として、みなさんと一緒に会場の選定、開催日の決定など、準備の第一歩から参画させていただきます。

地域自主上映委員会の主な準備作業は次の通りです。

1. 上映実行委員会の設置
2. 上映企画・計画・予算の立案
3. 上映日、会場の決定
4. 動員、告知活動
5. 上映当日の運営
6. 報告、清算

#### ■ 上映実行委員会の設置—構成メンバーとその役割

委員長

代表者としての一般業務、管理運営の責任者

渉外担当

後援名義、協賛名義、支援団体との折衝、製作上映委員会との窓口

会計

経理、予算管理等

広報告知

チケット販売、広告宣伝活動等

その他

必要に応じて適宜担当者の設置

■ 上映日と会場の決定（上映委員会メンバー全員の一致で上映日と上映会場が決定されれば、上映会の成功はほぼ確定したのも同然です）

□ 上映会場の選定・日時決定・仮予約（映写設備のある会場が望ましい）

- 上映に必要な会場設備の確認
- 映写に必要な素材の決定（BR-DVD, STD-DVD, HD カム、DV カム）
- 映写業者の確認と仮予約

上映会場に相応しい映写機器や映像素材を選定し、映写業者の手配を行います。

□ フィルム・ディスクの空き状況確認、他の開催日程との調整

□ 自主上映管理フォームの提出

必要事項をご記入の上ファックスまたは電子ファイル形式でご提出ください

メール：[culture@inochi-museum.or.jp](mailto:culture@inochi-museum.or.jp) ファックス：042-506-9816

■ 予算組み

□ 協賛企業、個人の募集

映画上映費用のうち、会場費、映画料、チラシ・ポスター印刷費等の主要経費を協賛金で賄えるよう、協賛企業、個人の賛同者を募集します。

□ チケットの販売（前売り活動が動員数につながります）

金額、料金体系（大人や子供料金）の設定は、上映実行委員会におまかせいたします。製作上映実行委員会作成の「上映協力券」が多数在庫でありますので、ご利用いただく場合には無償でご提供いたします。

上映会開催費用を地域スポンサー、後援、協賛企業からの拠出金でまかなえれば、寄付原資の確保が容易になりますし、チケットの料金設定を低くする事が可能となります。

□ 予算書をつくる

収入：協賛金、助成金、チケット売り上げなど  
支出：会場費、映画料、印刷費など、その他上映運営に係る費用です。  
映写技師、映像素材の料金は、映画料に含まれています。

□ チケットの販売方法

現在、地域の上映委員会メンバーによる対面手売りに依存しています。  
地域の上映委員メンバーの方々の草の根活動によって動員が確保されています。

これまでの上映活動や、生命のメッセージ展の活動がマスコミで取り上げられる事が増えたことによって、教育委員会、警察、交通安全協会などの行政機関からの後援、協力を得られる機会が増えてきています。  
又、一部の市町村、企業、団体から会場費の負担や上映費の負担申し入れが見られる場合もあり、自主上映の開催が容易に行える環境も整いつつあります。

**一日一回上映の過去最大動員人数は830名でした。**

**また、全国47都道府県で上映会が開催されました。**

■ 事務作業・宣伝活動

□ 宣伝／チラシ、ポスターを配付する（知り合いのお店、書店、自然食品店、会場ロビー、公共施設、また地元の情報誌や新聞社に情報を送るなど、各地域の方々のネットワークに深く依存することとなります。）

● 行政機関から後援をいただけると、公共の各施設にチラシ配置していただいたり、公共施設の会場費が安くなるなどの利点もあるようです。

● チケット、チラシ、ポスターのデジタル原稿をご提供致しますので、地域上映

情報を反映して独自のものを作成していただけます。いのちのミュージアムにて作成を代行することも可能です。参考価格、2000枚3万円。

これまでの自主上映開催では、県、区市町村いずれかの教育員会より後援名義を頂いております。上映施設の管理団体より共催名義を頂いて、地域の掲示版へのポスター掲示、チラシの供与などの便宜を頂いたケースもあります。

## ■ 当日のスケジュール

- 会場との打合せ（進行や、使用する付帯設備（マイク、テーブル、イスなど）の確認など） 通常、利用日の1週間前までに行われます。
  - この作業は、各地域のボランティア及びその協力者の方々にお願いいたします。当方スタッフの同伴を必要とする場合は、派遣をいたします。
- 当日のスタッフ役割分担（当日券販売、場内整理、もぎり、物販、司会、挨拶、影アナ、記録、会計など）
  - 各担当を一人としても5人のスタッフが必要であると考えます。会場案内係りも含めると8名～10名を必要とします。
- 当日上映に必要な技師、映写機器の手配は、当 NPO 法人が責任をもって事前に対応いたします。
- プログラム、記念グッズの頒布準備、釣り銭の用意など
  - 印刷物（チケット、チラシ、ポスター）のは上映日の3ヶ月前を目途に余裕をもってご準備ください。鑑賞記念グッズのお届けは、ディスクと同時、若しくは上映日の前日までにお届けすることとします。

## ■ 上映会当日のチェック事項

□ 映写チェック。音のボリューム、バランス、画面が切れていないかなど、映写担当者はもちろんのこと、主催者も納得のゆくまで確認をお願いいたします。

● デジタル上映の場合には、映写業者に十分な余裕をもって素材を提供し、事前チェックをお願いしております。

● 音響は、ステレオ、サラウンドに対応しています。施設の音響設備に対応して出力チャンネルのチェックが必要です。

(専門的なチェックは、専門業者に委託することを前提にしています。)

□ 会場内のこと(トイレの場所、母子席、車椅子席の有無、映写室、内線電話番号など)は、スタッフ全員が把握していると、咄嗟のときに機転が利きます。

地域の上映委員会メンバーが、割り当てられたチケットを自腹で買い取って、無料でお友達や知人に配布しますと、チケットは売れているのに動員が思わしくないという現象につながります。

参考事例として、完全無料招待で開催したケースをご紹介しますと、招待者数に対する来場者数は3割～5割程度と、チケットを天売で行った場合の7割を遥かに下回ることとなります。

## ■ 上映会終了後

□ 映像素材の返却

基本的に上映業者より返却を受けますので、皆さんの手を煩わせることはありません。

□ チケットの回収(当方提供のチケットが残っている場合)

● 残券は現金と同じです、確実に回収と残数の確認をお願いいたします。

□ チケットの精算（管理フォームに必要事項を記入し、経費清算用の領収証を添えて残ったチケットともに、当方にご返却ください）

●上映会終了後 2 週間以内の返却を目標にお願いいたします。

自主上映会実施に関する特記事項

<歩留まり>

チケットの販売枚数、或は配布枚数に対する来場者数のことを言います。

無料や招待上映の場合は50%、有料の場合は70%～80%の歩留まりが通常です。又、有料であってもお付き合いで購入される比率が高いと、歩留まりが極端に低くなる傾向があります。

一例として、ある団体が主催した上映会では、チケットの販売枚数1500枚に対して、来場者数が500名に満たなかったケースがありました。これは、団体参加者のネットワークへの協力姿勢が強固だったため、当初の販売計画は達成されたものの、チケットが退蔵されてしまったための結果と判断されます。

又、この事例と対照的なケースとして、無料招待と有料前売りを同時に採用した上映会があります。ある団体の記念事業として上映会を主催し、団体の予算内で「無料招待券」を関係者に配布、同時に一般向けにチケットを販売しました。

総来場者820名中、無料招待者280名、有料入場者540名という結果となりましたが、500枚の無料招待券発行に対して歩留まりは56%、650枚の前売りに対する歩留まりは89%との結果となり、有料の場合の歩留まりが高いことを証明する結果となっています。

<後援名義>

「公共の利益」「社会貢献」をも目的とした「上映実行委員会」を立ち上げ、予算、決算を一時的な任意団体による活動で完結し、収益を寄付することで、行政機関からの名義使用許可取得は容易になります。

<大凡の予算組み>

映画料：

平成21年6月1日以降、映画の上映に関わる著作権が「いのちのミュージアム」に無償で譲渡されることから、それまで製作上映実行委員会が行ってきた映画貸出し料金体系が継承される事となります。

● 借り上げの場合

基本料金： 330,000円 + 追加料金

この映画料の中には、映写に必要な業者の派遣費用、上映に必要な機材のレンタル料金も含まれています。

● チケット販売による自主上映の場合

チケット販売額の10%を謝礼として主催者に還元。

下記の諸経費をチケット販売収入によって賄い、純益を「いのちのミュージアム」にお支払いいただきます。

会場費：

映画の上映が可能な公共のホール、企業の講堂や会議室を借りる費用です。

広告費：

チラシ、ポスター等の印刷費。 特別な公告媒体を利用する場合の費用。

その他：

会場運営スタッフ、ボランティアの方への謝礼、交通費、弁当代など。

## 自主上映管理フォーム（ご参考）

施設情報：

名 称：

住 所：

電 話：

U R L：

収 容： 名

機 器：

---

---

スクリーン：  \_\_\_\_\_ m x \_\_\_\_\_ m  \_\_\_\_\_ インチ

代表者情報：

氏 名：

住 所：

電 話：

携 帯：

メ ー ル：

その他主要メンバー情報

後援・協賛情報：

後援

協賛

担当者情報：（自主上映をお手伝いくださる担当者の氏名、連絡先をご記入下さい）

上映日程：

開始日：

終了日：

上映スケジュール：

月	日	x x 時	xx 時	xx 時
月	日			
月	日			

提供物情報：

チラシ：

ポスター：

チケット：

ノベルティ：

上映メモ

上映動員結果情報：

入場者数

チケット売上げ

当日

前売

自主上映実行委員会謝礼